

2018年3月期第1四半期 決算説明会Q&A

Q: 2016年9月に買収したアジマスシステム社とのシナジー効果は出ているのか？

A: アンリツのシグナルアナライザとアジマスシステム社のフェーシングシュミレータの技術を統合したソリューションを目指しており、シナジー効果が出るのはこれからである。

Q: 1Qの実績は営業赤字だが、1Qの社内計画も営業赤字だったのか？

A: T&M事業はスマホ関連市場の投資抑制の継続で、上期は厳しいとみており、1Qは営業赤字を見込んでいた。PQA事業は、計画通りであった。

Q: T&M事業の1Q対前年同期比において、売上が15億円減、営業利益13億円減であったが、売上の減少額に比べ利益の減少額が大きい、その要因は何か？

A: 粗利率の良かった北米の基地局用測定器の売上減が主な要因。

Q: 5GのソリューションであるMS2850Aでは、1GHzの帯域の解析が可能とのことだが、分周して解析しているのか？

A: 1GHzの帯域幅を分周せず、高精度な測定を実現している。
(注) 分周：周波数を整数分の1（1/8、1/16等）の周波数に下げること

Q: PQA事業が好調な理由を聞かせてほしい。

A: 国内・海外とも食品メーカーの投資意欲が旺盛で、X線検査機の需要が、全ての地域で堅調に伸びている。